

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：地域連携部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県営鈴鹿スポーツガーデン（鈴鹿市御園町1669番地） 三重県営総合競技場（伊勢市宇治館町510番地）
指定管理者の名称等	三重県体育協会グループ 代表者 公益財団法人三重県体育協会 会長 岩名 秀樹 （鈴鹿市御園町1669番地 県営鈴鹿スポーツガーデン内）
指定の期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 事業実施に関する業務 ② 施設等の利用の許可等に関する業務 ③ 利用料金の收受等に関する業務 ④ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ スポーツガーデン及び総合競技場の管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H21	B		指定期間を通じて、一般利用者が施設を利用しやすいように、利用調整会議において競技団体へ協力依頼し調整を行うなど、多くの県民が利用できるよう配慮した運営を行っている。 利用者のニーズ等を把握しサービス向上に努めており、県民が気軽にスポーツに親しむことができる施設としての機能を確保するとともに、独自に備品整備等を実施し利用者への利益還元を行うなど、良好な施設環境の提供に努めていると評価できる。
H22	B		
H23	B		
H24	B		
H25	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H21	B		平成21年度から休業日の縮小及び営業時間の延長を行い、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。 広報誌、新聞、ケーブルテレビ等のメディアを活用したPR活動を行い、スポーツ教室の充実や施設の無料開放イベント等の自主事業を開催するなど、積極的な経営努力を行い、多くの県民が利用しやすい施設として機能向上が図られていると評価できる。
H22	B		
H23	B		
H24	B		
H25	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	2,010,318,645	事業費	200,515,144
利用料金収入	647,856,299	管理費	2,588,262,475
その他の収入	244,482,238	その他の支出	48,233,776
合計 (a)	2,902,657,182	合計 (b)	2,837,011,395
収支差額 (a)-(b)	65,645,787		

※参考

利用料金減免額		14,793,995
内訳	スポーツガーデン	14,548,270
	総合競技場	245,725

5 成果目標及びその実績

	指定管理者 の自己評価	県の評価	全期間における成果目標(下段カッコ書き)及びその実績(上段)					
			成果目標項目	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値
H21	B		スポーツガーデン 利用者数	438,817 人 (366,000人)	480,636 人 (366,000人)	457,086 人 (400,000人)	464,824 人 (400,000人)	486,452 人 (400,000人)
H22	B		スポーツガーデン 大会数	376 回 (300回)	400 回 (300回)	394 回 (300回)	396 回 (300回)	398 回 (300回)
H23	B		総合競技場 利用者数	289,774 人 (222,500人)	300,918 人 (222,500人)	319,082 人 (240,000人)	356,776 人 (250,000人)	368,709 人 (270,000人)
H24	B		総合競技場 大会数	242 回 (200回)	264 回 (200回)	318 回 (200回)	306 回 (215回)	308 回 (215回)
H25	B	+						
全期間におけるコメント								
<p>各種競技団体との調整を行い大会の開催及び誘致に努め、また利用者のニーズを把握したスポーツ教室ほか自主事業を充実させるなど、施設利用者数及び大会開催数とも全ての年度で目標を達成していると評価できる。</p>								

6 総括評価

- 利用状況に応じた料金設定や柔軟な営業時間、地域・各種スポーツ団体との連携や広報活動の充実など、円滑な管理運営に取り組んでいる。また、良好な施設環境を維持し利便性を向上させるため、独自に備品整備を行うなど、収益を積極的に利用者へ還元するとともに、自主事業としてスポーツ大会や施設無料開放イベントを開催して、県民がスポーツに親しめ、利用しやすい施設の提供に積極的に取り組んでいる。
- 危機管理全般に対応するため、危機管理マニュアルを策定し、定期的に消防・避難訓練を実施、AED取扱講習を受講したスタッフを配置し、施設利用中の事故に迅速に対応できる体制を整備している。
- 競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、利用者の安全対策や利便性の向上に対応した修繕などを適切に実施している。また、利用者アンケートの実施や各施設に設置した意見箱により利用者の意見、要望を把握し、可能な限り運営業務に反映させることで、利用しやすい施設の提供に努めている。
- 省エネルギー・リサイクルの徹底による維持管理費の削減などに努めている。また、利用者サービスの向上を図るため、従来の利用料金以外に期間パスポート(水泳場)及び定期券(水泳場及びガーデン・競技場トレーニングルーム)を導入するとともに、料金体系の見直しや営業時間の延長、休業日の縮小、多種多様なスポーツ教室の開催など、利用者ニーズに対応した施設運営に取り組んでいる。
- 成果目標については、指定期間を通じ、施設利用者数及び大会開催数のいずれも達成しており、指定管理者としての経営努力が着実になされている。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。